

## 重症妊娠悪阻入院症例における長期化予測因子の検討

2011年から2023年までに重症妊娠悪阻のために入院治療を受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「重症妊娠悪阻入院症例における長期化予測因子の検討」という研究を行います。この研究は、2021年9月1日より2023年6月30日までに日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科にて、重症妊娠悪阻のために入院治療を受けた患者さんの症状の長期化に関する因子を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：重症妊娠悪阻入院症例における長期化予測因子の検討

研究期間：2021年9月1日～2023年6月30日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 倉品隆平

#### (2) 研究の意義、目的について

重症妊娠悪阻は、ヘリコバクターピロリ感染との関連の報告がありますが、本邦での報告はこれまでにありません。抗ヘリコバクターピロリ抗体 IgG 陽性が、悪阻の症状の重症化に影響を与えるのかを明らかにすることを目的とします。

#### (3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2021年9月1日より2023年6月30日までに日本医科大学武蔵小杉病院女性診療科・産科にて、重症妊娠悪阻のため入院された患者さんの、抗ヘリコバクターピロリ IgG 抗体と重症妊娠悪阻の重症化・症状の長期化の関連についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、血圧値、肝機能、凝固系指標他入院時の血液検査結果、ヘリコバクターピロリ抗体の有無等

#### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

#### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

#### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 女性診療科・産科 講師 倉品隆平

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-383

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3275

メールアドレス：kurashina@nms.ac.jp